

外国人住民基本法の制定を求める 全国キリスト教連絡協議会

事務局メール便<不定期>

2025年10月号（10月3日発信）

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 52号室 RAIK内

電話 (03) 3203-7575 E-mail: raik.kccj@gmail.com

郵便振替: 00190-4-119379 口座名称: 外キ協

ホームページ <http://www.gaikikyo.jp>

●目次●	◆申入書◆差別と偏見を助長する報道
	◆集会案内◆マイノリティ宣教センター「つきいちひろば 10月」
	難民いのち基金「ここのか祈祷会 10月」
	移住者と連帯する全国ネットワーク「NPO 法人 10周年シンポジウム」
	日韓和解と平和プラットフォーム「日韓オンラインセミナー」
	カトリック大阪高松大司教区「インターナショナル・デー2025」
	広島外キ連「<外国人住民基本法>全国リレー集会 in 広島」
	難民いのち基金「第一期まとめオンライン集会」
	マイノリティ宣教センター「つきいちひろば 11月」
	早稲田奉仕園「映画〈在日〉から30年 上映会&トーク」

差別と偏見を助長する報道

～テレビ朝日「万博で日本に入国・・・『帰りたくない』就労ビザに切り替えたいとの相談相次ぐ」との報道に対する申入書～

2025年9月22日

移住者と連帯する全国ネットワーク／外国人人人権法連絡会／全国難民弁護団連絡会議

貴社は、そのウェブサイト等において、「グッド！モーニング 2025年9月15日分」として、「万博で日本に入国・・・『帰りたくない』就労ビザに切り替えたいとの相談相次ぐ」との報道内容を掲載していました（以下「本報道」）。

本報道は、看過しがたい不適切な点を複数含み、また、差別偏見を助長するものです。本報道は、既に貴社ウェブサイト及びYou Tubeにおいて閲覧できない状態になっていますが、私たちは、このような報道がなされたことについて、強く抗議するとともに、なぜこのような報道がなされたかの検証、及び、訂正報道を求めます。以下、理由を述べます。

1 本報道は、「万博用のビザで日本に入国しながら、生活環境の良さにそのまま居座ろうとする外国人が増えています。」とし、You Tubeの映像によれば、「とりあえず“難民申請”というテロップから始まり、協力している行政書士の『帰りたくない』っていう。例えばエチオピアよりは、日本に居た方がいいわけですよ。お金的にも環境的にも。なんで日本はこんなに便利なんだと。それで『日本から出たくない』と」との発言をそのまま流し、また掲載した上で『「とりあえず難民申請」悪用も』との見出しを掲げています。

しかしながら、エチオピアについては、その情勢が極めて不安定であることから、国連難民高等弁務官事務所は、2022年3月、「エチオピアへの帰還に関するUNHCRの見解（仮訳）」を発出し、すべての国にエチオピアから避難する一般市民に関するノン・ルフールマン原則を尊重し、出身地域によっては最低限の基準として強制送還を一時停止し、国内避難・移住の選択可能性に基づいて難民としての国際保護を否定しないよう求めています。また、入管庁も、エチオピア出身の難民申請者の多くについて、「難民条約上の難民である可能性が高いと思われる申請者又は本国情勢等により人道上の配慮を要する可能性が高いと思われる申請者」とする類型に振り分けています。

上記からすれば、本報道において取り上げられたエチオピア女性が難民条約上の難民に該当する可能性は相

当程度存在します。当該女性やエチオピア出身者を取り上げて、難民申請の悪用の可能性を報じることは適切ではありません。また、エチオピア出身者を例として「万博用のビザで日本に入国しながら、生活環境の良さにそのまま居座ろうとする外国人が増えています。」と報じることは誤りです。

2 本報道に登場した行政書士は、そのツイッターアカウントにおいて「不良外国人と戦う行政書士」と自己紹介、「日本人差別」があると訴えるなど、外国人に対する偏見をあおるポストを多数行っている人物です。当該行政書士の発言をあたかも外国人支援の専門家の解説であるかのように取り上げた点にも問題があります。

とりわけ外国人に対する差別や偏見が深刻化している現在、大手マスメディアである貴社が、差別や偏見に基づく発言をあたかも専門家の解説であるかのように取り上げることは、エチオピア国籍者をはじめとする外国籍者に対する誤った理解を広め、差別偏見を助長するもので、その影響に鑑みて看過できません。

3 本報道には、当該行政書士が「来た人たちをどういう風に管理していくのかが、今やっぱり何もできていない状態」と発言する場面が存在します。しかしながら、近年在留管理は厳格化し、「今やっぱり何もできていない状態」というのはおよそ客観的な評価ではありません。

4 したがって、本報道に強く抗議するとともに、なぜこのような報道がなされたかの検証、及び、訂正報道を求めます。

◆7月の参議院選挙を前後して、政府、政党、地方議会など、「公」が外国人バッシングを競い、日本社会には無知と偏見による差別デマに乗ったヘイトスピーチ、ヘイトクライムが横行しています。そして一部の大手マスメディアも、事実検証なしにそれを報道していることは、報道機関の責任放棄であり、目に余るものがあります。

◆本件について、テレビ朝日の番組担当者から「深く反省している」との表明がなされましたが、問題の深刻さの検証も、訂正報道もいまだなされていません。

.....

◆おすすめ集会の案内◆

●マイノリティ宣教センター●つきいちひろば 10月（オンライン）

各教会・各地の取り組みの最新情報を分かち合います

◇日時：10月6日（第一月曜日）19:00～20:00

◇ゲスト：三瓶春江さん（「ふるさとを返せ津島原発訴訟」原告）

◇テーマ：次世代の幸せと平和のために伝えるべきこと。原発事故避難者として

◆当日のZOOM ミーティング ID: 830 7409 8368 パスコード: hiroba

●外キ協 難民いのち基金●ここのか祈祷会 10月（オンライン）

難民・移民の仲間たちと共に生きるために祈りを合わせます

◇日時：10月9日（木）19:00～19:30

*当日のZOOM <https://us06web.zoom.us/j/81576448847?pwd=NIHaRp9lP0RRrQ2kiq7pWWhgZrCad.1>

●移住連●移民社会の未来をひらく～NPO 法人移住連 10周年シンポジウム（対面とオンライン）

◇日時：10月13日（月／休日）14:00～16:30

◇会場：明治大学グローバルフロント グローバルホール（千代田区神田駿河台2丁目）

◇主催：移住者と連帯する全国ネットワーク（移住連）

◇資料代：500円（オンライン参加者も）

1. スライド上映～NPO 法人設立 10年 移住連の活動をふりかえる
2. つながりから希望へ～これからの 10年の社会と活動を展望する
大川昭博さん（移住連共同代表）／三苫文靖さん（札幌地域労働組合・移住連運営委員）／
三木幸美さん（とよなか国際交流協会・移住連理事）／高谷幸さん（東京大学・移住連運営委員）
3. 各地からのメッセージ～これからの 10年に期待すること

●申込先：<https://forms.gle/Y1fvjfHdy7g3tPny7> *10月8日までに

●日韓オンラインセミナー●日韓和解と平和プラットフォーム

◇日 時：10月16日（木）19:30～21:30

◇講 師：金英丸〈キム・ヨンファン〉さん（民族問題研究所・植民地歴史博物館対外協力室長）
「歴史を問わない未来志向は可能だろうか～李在明時代の日韓関係と私たち市民の課題」

◇主 催：日韓和解と平和プラットフォーム日本運営委員会

◇参加費：1,000円

●申込先 <https://peatix.com/event/4605185/view>

●インターナショナル・デーin 大阪●

外国人が暮らしやすい社会をめざして！ 各国料理の出店・歌や踊りのステージ

◇日 時：10月19日（日）12:30～16:00

◇会 場：大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂（大阪市中央区玉造2-24-22）

◇共 催：カトリック大阪高松大司教区

外国人との共生をめざす関西キリスト教代表者会議（関西代表者会議）

外国人との共生をめざす関西キリスト教連絡協議会（関西外キ連）

●<外国人住民基本法>全国リレー集会 in 広島●広島外キ連

◇日 時：10月19日（日）15:00～17:00

◇テーマ：分断と苦しみの時代を私たちはどう生きるのか

◇講 師：金 迅 野 さん（在日大韓基督教会横須賀教会牧師）

◇会 場：日本バプテスト広島キリスト教会（広島市中区舟入町12-7）

◇主 催：外国人住民との共生を実現する広島キリスト者連絡協議会（広島外キ連）

●外キ協 難民いのち基金●第一期まとめ集会（オンライン）

◇日 時：10月19日（日）19:00～20:30

◇テーマ：難民・移民と“ともに生きる”を考える

◇プログラム ・3年プロジェクト第一期（24年10月～25年9月）報告

・仮放免の高校生のマイストーリーを聴く

・グループトーク「ともに生きる社会、なにが必要？ なにができる？」

・難民いのち基金 第二期をはじめます

◇主 催：外キ協 難民・移民なかまのいのち協働基金（難民いのち基金）

●申込先 <https://forms.gle/VLUCfUW8q6dXzFuU8> *前日までに

●マイノリティ宣教センター●つきいちひろば11月（オンライン）

各教会・各地の取り組みの最新情報を分かち合います

◇日 時：11月3日（第一月曜日）19:00～20:00

◇ゲスト：三浦忠雄さん（日本基督教団北海教区アイヌ民族情報センター）

「台湾の原住民 再会の旅」

◆当日のZOOM ミーティング ID: 830 7409 8368 パスコード: hiroba

●映画〈戦後在日五〇年史 在日〉から30年 上映会&トーク●早稲田奉仕園 STUDY HALL（対面）

◇日 時：11月8日（土）17:30～21:00 [開場 17:15]

◇映画上映： 呉徳洙監督〈戦後在日五〇年史 在日〉

◇ゲストスピーカー： 朴金優綺さん（在日本朝鮮人人権協会）「在日女性・クィアが語る、あれから変わったこと・変わらなかったこと・そしてこれから変えたいこと」

◇会 場：早稲田奉仕園内 スコットホール講堂

◇主 催：公益財団法人 早稲田奉仕園

◇参加費：1000円／学生500円

●申込先 <https://www.hoshien.or.jp/program/manabiya/studyhall/vol44.html>